

平成25年度第2回少年愛護センター運営委員会 会議録

1 日時 平成26年3月25日(火) 19:30~21:00

2 場所 あわら市役所 101 会議室

3 議題

平成25年度の事業経過について

平成26年度の取り組みについて(情報交換)

その他

4 出席者

【愛護センター運営委員】

丸子 要 山本 篤 安田 典子 長谷田 朝幸 坂東 知範 木内 宏

大廻 良一 時岡 博之 加藤 政見 酒井 義和 石塚 一雄 小林 良嗣

中嶋 由昭 山本 孝教 山本 榮子 佐孝 修彦 佐藤 雅美

【事務局】

寺井 靖高 (愛護センター所長・教育長)

山岸 利紀 (愛護センター事務局長)、北畠 則子 (愛護センター専門補導員)

中村 嘉之 (あわら市教育委員会文化学習課主事)

5 会議

○寺井所長あいさつ

○丸子委員長あいさつ

○丸子委員長の進行のもと、議事に入る。

(1)平成25年度の事業経過について主なものについて説明(北畠専門補導員)

(2)平成26年度の取り組みについて(山岸事務局長、中村主事)

・平成26年度の街頭補導計画について

・児童・生徒を取り巻く情報化社会の進展を承けて、インターネット安全利用のための啓発活動の強化計画について説明。以下、概要を記す。

①平成26年度愛護センター補導員研修会にてインターネット安全利用に関する研修会の開催。

②愛護センター発行の非行防止・健全育成啓発チラシ「シグナル」誌面上でインターネット安全利用の啓発記事を掲載する。

③インターネットトラブルの情報や安全利用研修会のための講師の情報等を集積・提供する。

(1)(2)の説明の後、質疑応答に入る。以下、概要を記す。

6 意見交換・質疑応答内容(概要)

・街頭補導日誌にある湯のまち公民館裏での少年の喫煙について、どのような対応をしたのか。→現場での注意に留めた。

・インターネットの安全利用に関連して、子どもたち同士のLINEによるいじめがあるようだが、こうしたネット上のいじめを防止するような内容の記事をシグナルに取り入れた方がよい。

- 子どものスマートフォン、携帯については保護者にも関心を持ってもらうことが大切。携帯のメーカーからももっと啓発してもらわなければいけない。
- インターネット被害、ネット依存が全県下で問題となっている。学校・家庭が連携して対応する必要がある。また、街頭補導については、市民全体の協力を得て声掛けをすることで少年に意識付けをすることが大事である。
- 警察署や少年愛護センターへの保護者や児童生徒からの相談はどれくらいあるか。
→件数は少ない。
- 虐待について、あわら市では子育て支援課でも担当しているが、文化学習課との横の連携はあるのか。
→子育て支援課が担当する要保護児童対策地域協議会で虐待についても扱っているが、愛護センター事務局長は代表者として、専門補導員は実務者として入って協議に参加している。

以上